

# ラベル

## 新ビジネス

### キソ化成産業

売を開始した。

キソ化成産業(大阪府 東大阪市川俣、中島啓社長、☎06・4308・7661)はこのほど、フィルム「部分粘着フィルム」の販

印刷用フィルムや特殊紙

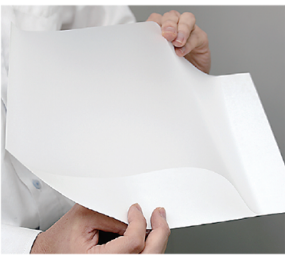
販売を行う同社はこれまで、レーザープリンタ対応

の蒸着シート「メタリックラベル」「透明フィルムラ

ベル」のほか「和紙シートラベル」など機能性シート

ラベルを上市。一部はプリンタメーカーの指定用紙として採用されている。

今回発売した部分粘着



両端だけにのりを塗工(上)。レーザープリンタでシュリンクラベルが作れる

フィルムは、厚さ40ミリのPET製シート。A4サイズ

# フィルムシートを部分粘着

## レーザープリンタでシュリンクラベルも

トの短手方向へ幅約25ミリの強粘再剥離のりを部分塗工した。また基材を透明ではなくマット調とし、ホワイトトナーのないプリンタでも色の再現性を確保した。

用途はシュリンクラベルをはじめ、軽包装や生花のラッピング、ウィンドPOPなど。必要枚数だけオンデマンド出力して、モック製造、期間・数量限定のラベルに活用できる。

A4サイズ100枚入りで、価格は1万8000円(税別)。A3、A3ノビといった別サイズのほかに

厚さ25ミリの透明薄手PET基材の部分粘着フィルムも用意する。

開発品について中島信専務取締役との一問一答は次の通り。

◇◇◇

——開発の経緯を

「5年前から打診はあった。ただ、飲料メーカーのデザイン部門が使うモック専用、みたいな製品が年間

どれだけ売れるのか。製品化へ踏み切れずいたところ、同じ構成品の別の使い方

方を他業界で確認した」「当社に日々寄せられるニーズは玉石混濁。1つだけだと「石」の域を出ない

が、異分野や他業界からのニーズを確認して『いけるかも』と、石が「玉」になった。これが開発の経緯だ」

——有効な使い方は

「少量のシュリンクラベルや水を伴う生花の包装以外に、例えば店舗のウィンドPOP。全面のりだと

気泡やシワが入りやすく、貼るのも剥がすのも大変。当フィルムはのりが両端だけなので、ピンと引っ張ってきれいに貼れ施工もぐつと楽になる」

「ほかにも、プリンタに通らない厚手のものや耐熱性のない素材へプリントした当フィルムを貼り合わせると、一見直接印刷したような仕上がり。印刷を施した蓄光シートも可能だ」

——総括とコメントを

「レーザープリンタ対応の部分粘着フィルムという市場にない商材を活用して貴社のレーザープリンタの可能性を駆け、新規需要獲得を実現いただければ」



中島信専務